

平成 25 年度第 1 回美濃市地域公共交通会議

(会議録)

○会議の日時及び場所

日時

平成 25 年 6 月 26 日 (水) 午前 10 時 00 分

場所

美濃市防災中央コミュニティセンター 2 階大会議室

○出席した委員及び説明のために出席した者の職、氏名

出席した委員

美濃市長 石川 道政

委員 15 名 (別紙のとおり)

委員 5 名欠席

説明のために出席した者の職、氏名

美濃市総務部長	西部 真宏	(事務局)
美濃市建設部長	丸茂 賢治	(市関係部署)
美濃市総務部総合政策課 課長	市原 俊美	(事務局)
美濃市総務部総合政策課 課長補佐	永田 幸泰	(事務局)
美濃市総務部総合政策課 係長	辻 敦史	(事務局)
美濃市総務部総合政策課 主事	平田 純也	(事務局)

合計 22 名

○議事の件名及び経過の要点

交通会議次第

1. 開会あいさつ
2. 会長あいさつ
3. 議題
 - (1) 美濃市地域公共交通計画 (案) 及び、美濃市生活交通ネットワーク計画 (案) について… 資料 1 資料 2 資料 3
 - (2) 平成 24 年度事業報告及び決算 (案) について… 資料 4 資料 5
 - (3) 平成 25 年度事業報告 (案) 及び予算 (案) について… 資料 6 資料 7
4. その他
5. 閉会

交通会議の概要

午前10時00分

事務局の市原総合政策課長の進行で開会

1. 事務局が開会あいさつ

2. 会長あいさつ

・美濃市長

<石川会長が議事を進める>

3. 議 事

議題（1）について、事務局から一括して説明する。

議題（1）

美濃市地域公共交通計画（案）及び、美濃市生活交通ネットワーク計画（案）
について… 資料1 資料2 資料3

- ・資料1により、事務局から美濃市地域公共交通計画（案）について説明する。
- ・資料3により、乗り合わせタクシーの試験運行の利用状況を説明する。
- ・資料2により、美濃市生活交通ネットワーク計画（案）について説明する。

<各委員からの意見>

- ・連合自治会長 玉田会長：
停留所が方々に設置されており身近に使えてありがたい。看板が落ちたりしているので保全をしたほうがよい。
- ・社会福祉協議会 藤田会長：
評判が良く利用しやすいと聞く。電話をかけることに難があるがそれは仕方がない。地域の奥のほうの方が全くありがたいと感じている。心配していることは地元の商店などの利用が減っていること。便利なので街のほうに出てきてしまう。何らかの形で、地元がその店を使ってあげるなどの便宜を図ったほうがよいのではないか。
- ・ボランティア連絡協議会 伊澤会長：
美濃和紙の里会館の最寄駅が須原地区の長良川鉄道の駅になっていると聞いたことがある。観光客はそれでは行くことができない。
⇒会議中に確認いたします。
- ・シニアクラブ連合会 猿渡会長：
ありがたい制度なので今後も利用していきたい。
- ・小中学校校長会 古田校長：
学校として、小中学生が乗り合わせタクシーを使うことはない。小中学生の移動はスクールバスを利用している。また小学校低学年の生活科で公共交通を使う授業がある。藍見小学校ではスクールバスで美濃市駅に行き長良川鉄道を使うが、乗り合わせタクシー

の利用は難しい。小中学生自身の利用はあまり聞いておらず、また家庭に任せるところではあるが、トラブル等があったら教えてほしい。

- ・美濃市連合PTA 井川会長：
学生も市内の移動で雨天時等に利用したいと思うが、携帯電話の普及率が低く公衆電話が少ないので、帰りの予約ができないのが実情である。小中学生の利用促進をするならそのあたりの対策をしたほうがよい。
- ・武義高等学校PTA 土本会長：
高校生の利用はあまりないと思うが、私の両親に聞くと、予約の仕方がわかりにくいとのことなのでPR次第でまだ利用が伸びる余地があると思われる。
- ・中部運輸局岐阜運輸支局 木村首席運輸企画専門官：
デマンドはある程度不便で制約された事業であるが、利用者が増えた時にタクシー事業への影響と事業者が応えられるかの問題がある。一般タクシーへの影響をお聞きしたい。タクシーも公共交通である。
- ・関警察署 小路交通課長：
今のところ乗り合わせタクシー関連の事故は聞いていない。今後も事故なく利用していただきたいが、利用が増えるといずれ事故が起こりえる。公共の乗り物が事故を起こすと新聞等で大ごとになり反響が大きくなったり、事故の形態によっては乗り合わせタクシーの今後のあり方も問われるので安全運行をしていただきたい。
- ・岐阜県公共交通課 額額氏：
他の市町村の事例をみると利用者が減ってきた時に一人当たりの運行経費が上昇する。その対応を今後考えていく必要がある。
- ・岐阜乗合自動車㈱ 宮部氏：
利用人数が増えたことで、地域のニーズに合った公共交通であったと思う。
- ・岐阜乗合自動車労働組合 三ツ村執行委員長：
地域の皆さんが安全で便利な公共交通であれば、それを広げていくことも視野に入れていってもらいたい。みなさんで議論しながらよりよい交通公共のサービスをしていければいいと思う。

議長：地域の公共交通はバスも乗り合わせタクシーも必要であり現状以上のサービスをしていかななくてはならない。

- ・美濃タクシー㈱代表取締役 長瀬氏：
試験運行を始めてから利用者数も増え無事故でいっている。過密な時間帯もあるが一丸となってやっている。高齢者の方に感謝もされている。学生については一部電話がかかってくるので、夕方の帰宅や小学生の塾通いの片道だけ使っている事例もある。小学生が自分で電話してくることもある。
本業のタクシー業は前年比70%になっている。デマンドがタクシー業を食っているのは否めない。将来的にはデマンド利用者が停留所まで行くことが困難になった時にタクシーを使うための宣伝効果を期待したい。そのためにもユニバーサルタクシー等の導入を進めたいが、そのためには利益が必要である。デマンド事業とタクシー事業をともに進めていきたい。
- ・長良川鉄道㈱専務取締役 坂本氏：
資料1を見ると、藍見地区など鉄道をあまり利用されない方からの財政負担に対する厳

しい見方がある。乗り合わせタクシーを利用することにより鉄道も利用され厳しい見方が減っていくのではないか。また乗継時間の改善により、さらに厳しい見方が改善するだろうと思う。

美濃市内での利用拡大のPRをされているが、長良川鉄道は外からの需要を呼び込む必要がある。素晴らしい制度ができていますので、列車の中や美濃太田駅でPRし、これとリンクした観光PR等をしていきたい。

公共交通の体験学習等で子供時代から鉄道を使っていたら、愛着をもっていただきたいので対応していきたい。

・岐阜大学 倉内教授：

利用者は便利になった。事故もないということで非常に良いサービスが始まった。そのなかでも使いにくい、電話がつながりにくい等のデータを拾っていく必要があるので今後も続けて分析してほしい。

乗り合わせタクシーが増えているのに対し牧谷線の利用者がどのようになっているかで全体の議論が必要になるかもしれない。

補助金申請については積極的に使ってほしいが、目標設定については大事かつ議論が必要である。例えば停留所の利用者割合が目標を下回ったら停留所を閉めていいのか、不満足度割合が15%を超えたら何をするのか、目標については行政だけでなく利用者、事業者のともに考えていかなければならない。今後密に議論する場を検討してほしい。

議長：市長への手紙等で乗り合わせタクシーについては喜ばれているものが多い。一部では電話がつながりにくいというものもあるが事務局が対策している。また停留所がわかりにくいというものもある。地元の方でもわかりにくい。見やすい作りにはしないと、自分の近所のバス停すらわからないというお年寄りもいるので、わかりやすさを求める。もう一つはバス停への移動。パークアンドライド等の問題。今後は10時以降に福祉タクシーの導入等も考えないといけない。また地域の事業者支援やタクシー事業者への支援を考えないといけない。

議長：ここで皆様の賛否を取りたいと思う。拍手多数でこの計画案については可決していきたいと思います。

○ここで、会長が議事について、美濃市地域公共交通会議としての合意の採決を行う。

○議題（1）美濃市地域公共交通計画（案）及び、美濃市生活交通ネットワーク計画（案）については、出席委員の拍手により、全会一致で合意される。

議題（2）について、事務局から一括して説明する。

議題（2）

平成24年度事業報告及び決算（案）について… 資料4 資料5

事務局：4月1日から減便した牧谷線については減便前と比べて700名ほど減っている。原因は昼間の便を減便したことによると思われる。

○社会福祉協議会 藤田会長より監査報告

○会長が議事について、美濃市地域公共交通会議としての合意の採決を行う。

○議題（2）平成24年度事業報告及び決算（案）については、出席委員の拍手により、全会一致で合意される。

議題（3）について、事務局から一括して説明する。

議題（3）

平成25年度事業報告（案）及び予算（案）について… 資料6 資料7

事務局：平成25年10月1日に乗り合わせタクシーの本格運行開始と、合わせてわっちも乗ろC a rの廃止を実施します。また平成26年3月に幹事会を開催し試験運行および本格運行の検証を行います。

岐阜大学 倉内教授：

10月1日の本格運行やわっちも乗ろC a rの廃止は重たい意思決定であるが、幹事会等が開催されなくても大丈夫なのか。

議長：開催する方向で進めます。

○会長が議事について、美濃市地域公共交通会議としての合意の採決を行う。

○議題（3）平成25年度事業報告（案）及び予算（案）について、出席委員の拍手により、全会一致で合意される。

4. その他

事務局：美濃和紙の里会館についてホームページでは美濃市駅から乗り合わせタクシーとなっている。その他の部分もあるかと思しますので今後調べさせていただきます。長良川鉄道についての車内案内はすでに配布してありますが今後もPRを続けていきます。

午前11時15分 閉会

○委員出席者（15名）

区 分	所 属 名 及 び 役 職 名	氏 名
市長またはその指名する者	美濃市長	石川 道政
一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体の代表者又はその指名する者	岐阜乗合自動車株式会社 取締役乗合事業本部	武藤 行儀 (代理出席)
	岐阜県タクシー協会 美濃タクシー株式会社代表取締役	長瀬 輝彦
	長良川鉄道株式会社 専務取締役	坂本 桂二
住民又は利用者の代表	美濃市連合自治会 会長	玉田 克己
	美濃市社会福祉協議会 会長	藤田 勝克
	美濃市ボランティア連絡協議会 会長	伊澤 稔
	美濃市シニアクラブ連合会 会長	猿渡 宮明
	美濃市小中学校校長会 藍見小学校校長	古田 信宏
	美濃市連合PTA 会長	井川 昌俊
	武義高等学校PTA 会長	土本 恭正
国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局長又はその指名する者	中部運輸局岐阜運輸支局 首席運輸企画専門官	木村 治史
一般旅客自動車運送事業者の運転者が組織する団体の代表者又はその指名する者	岐阜乗合自動車労働組合 執行委員長	三ツ村 秀樹
岐阜県関警察署長又はその指名する者	岐阜県関警察署 交通課長	小路 和公
岐阜県都市建築部公共交通課長又はその指名する者	岐阜県 都市建築部公共交通課長	松田 勲 (代理出席)
市長が交通会議の運営上必要と認める者 学識専門者	国立大学法人岐阜大学 工学部社会基盤工学科 都市デザイン学 教授	倉内 文孝

○会議資料

- 【資料1】 ・美濃市地域公共交通計画（案）
 - 【資料2】 ・生活交通ネットワーク計画（案）
 - 【資料3】 ・乗り合わせタクシー利用状況
 - 【資料4】 ・平成24年度 事業報告書
 - 【資料5】 ・平成24年度 歳入歳出決算（案）
・監査報告書
 - 【資料6】 ・平成25年度 事業計画（案）
 - 【資料7】 ・平成25年度 美濃市地域公共交通会議予算（案）
- 【参考図面等】
- ・美濃市のり愛くんガイドマップ
 - ・美濃市地域公共交通会議設置要綱